

## 五戸総合病院での研修を終えて

令和3年8月研修医  
青森県立中央病院 2年目研修医  
齋藤佳菜子

青森県立中央病院2年目研修医の齋藤佳菜子です。この度は貴重な研修の機会を与えてくださり、誠にありがとうございました。

私は将来、外科系に進みたいと思いつつ、地域医療に関しても考えを深めたいと思い、五戸総合病院での研修を選択させていただきました。

五戸総合病院での研修は、新鮮な出来事の連続でした。季節柄のためかとても多いハチ刺傷、褥瘡処置、粉瘤切除、陥入爪根治術といったいわゆる小外科と言われるものから、TAPP、小腸部分切除、さらにはS状結腸切除術や胃全摘といった大きな手術まで、外科としての守備範囲がとても広く驚きました。

また、病棟や外来、往診では、医療者と患者・家族との距離の近さにも感銘を受けました。私が日頃研修しています県立中央病院は、急性期医療を主に見る病院のため、急性期の治療を終えた後は近位に紹介をさせていただくことが多いです。今回研修させていただいた五戸総合病院では、急性期治療を終えた後の方々のその後の姿を見ることができました。リハビリや褥瘡治療に励む患者さん・ご家族の方々と、それを支える医療者の姿を見て、医療者の立ち位置・役割を改めて実感いたしました。

最後になりましたが、コロナ禍の大変な情勢の中研修を受け入れてくださいました、安藤先生、井上先生、後村先生をはじめ、医療スタッフ・事務の皆様、1ヶ月間お世話になりました。優しくご指導していただき、多くを経験させていただいたおかげで様々なことを身につけることができました。今回の経験を活かし、これからの研修・診療に役立てたいと思います。